			後発品					標準製剤	
販売元会社名			岩城製薬株式会	<u></u> 社					
商品名		ジフルプレ	 ドナートローション(0.05%「イワキ」			クリーム0.		ぶし)
薬価			13.00円/g						
成分名				ジフル	 レプレドナー				
規格		1g中 ジフルプレドナート 0.5mg (0.05%)							
薬効分類名		副腎皮質ホルモン外用剤							
効能・効果	(じん 癬、ジ 状紅 炎)、糸	森疹様苔癬、スト ベルばら色粃糠 H、遠心性丘疹性	性指掌角皮症、ビ -ロフルス、固定じ 疹、薬疹・中毒疹 生紅斑)、特発性色 症(サルコイドーシ コイド	ん麻疹、結節 、慢性円板状 色素性紫斑(マ	性痒疹を含 エリテマト- ヨッキー紫	む)、虫さ ーデス、紅 斑、シャン	さされ、乾癬 [斑症(多形 ノバーク病、	、掌蹠膿疱症、原 滲出性紅斑、ダリ 紫斑性色素性苔	扁平紅色さ リエ遠心性 癬様皮膚
用法•用量			五 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	量を患部に塗	布する。な	お、症状に	により適宜ナ	 曽減する。	
添加物	エーテル デト酸フ	ポリオキシエチレンセチルエーテル、ポリオキシエチレンステアリル エーテル、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸ブチル、エ デト酸ナトリウム水和物、プロピレングリコール、セタノール、流動パラ フィン、中鎖脂肪酸トリグリセリド、pH調節剤2成分、その他1成分							
製品の性状		白色のローション剤で、においはないか、又はわずかに特異な においがある。							
pН			3.6 ∼ 4.6						_ \
유리 수리 호수 1호				果はVery Str ·含まない乳剤	_				10
製剤特性	(2)刺 ※診療	激感をもたらする報酬上の後発用制率及び肉芽	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標	含まない乳剤一般名処方加	性(O/W)ロ 算1,2、後身 た結果、模	ーション剤	剤である。毛 の各種体制	と髪部等に適する 加算に該当しまっ	せん。
製剤特性	(2)刺※診療浮腫抑10080	激感をもたらする 報酬上の後発 制率及び肉芽	低級アルコールを	含まない乳剤一般名処方加	性(O/W)ロ 算1,2、後多 た結果、根 ・ n=10)	ーション系 発医薬品(悪準製剤と	剤である。毛 の各種体制	と髪部等に適する 加算に該当しまっ	せん。 された。
製剤特性	(2)刺※診療浮腫抑10080	激感をもたらす。	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標	含まない乳剤一般名処方加	性(O/W)ロ 算1,2、後身 た結果、模	ーション系 発医薬品(悪準製剤と	割である。毛 の各種体制 との生物学的 Control	髪部等に適する加算に該当しませ的同等性が確認。平均浮腫率	せん。 された。
製剤特性	(2)刺※診療浮腫抑10080	激感をもたらす。	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標	含まない乳剤一般名処方加票に統計解析し腫抑制率(ラット	性(O/W)ロ 算1,2、後多 た結果、根 ・ n=10)	ーション系 発医薬品(悪準製剤と	割である。毛 の各種体制 との生物学的 Control ロージョン	接部等に適する 加算に該当しませ 的同等性が確認。 平均浮腫率 ±SE(%)	せん。 された。 抑制率 (%)
製剤特性	(2)刺 ※診療 項腫和 100 80 80 40	激感をもたらす。	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標	含まない乳剤一般名処方加票に統計解析し腫抑制率(ラット	性(O/W)ロ 算1,2、後多 た結果、根 ・ n=10)	ーション系 発医薬品(悪準製剤と	割である。毛 の各種体制 との生物学的 Control	髪部等に適する加算に該当しませ的同等性が確認る平均浮腫率 ±SE(%)80.2±6.0	せん。 された。 抑制率 (%)
製剤特性	(2)刺※診療浮腫抑10080	激感をもたらす。	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標	含まない乳剤一般名処方加票に統計解析し腫抑制率(ラット	性(O/W)ロ 算1,2、後多 た結果、根 ・ n=10)	ーション系 発医薬品(悪準製剤と	割である。毛の各種体制 との生物学 Control ローション 基験製剤 標準製剤	上髪部等に適する 加算に該当しませ 的同等性が確認る 平均浮腫率 ±SE(%) 80.2±6.0 81.7±5.7	せん。 抑制率 (%) -1.9 59.9
製剤特性 標準製剤 性の同等性	(2)刺 ※診療 項腫和 100 80 80 40	激感をもたらする 報酬上の後発 可制率及び肉芽 クロトン油浮胆 0 Control	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 種抑制法における浮 0 ローション基剤	含まない乳剤 一般名処方加 駅に統計解析し 腫抑制率(ラット 59.9 試験製剤	性(O/W)ロ 算1,2、後多 た結果、根 ・ n=10)	ーションを ・	制である。毛 の各種体制 との生物学的 Control ローション 基剤 試験製剤	上髪部等に適する 加算に該当しませ 的同等性が確認な 平均浮腫率 ±SE(%) 80.2±6.0 81.7±5.7 32.2±2.8	せん。 抑制率 (%) -1.9 59.9
標準製剤	(2)刺病肾期 100 80 60 40 0 100	激感をもたらす。 報酬上の後発 引制率及び肉芽 クロトン油浮腫 0 Control ローション ペ	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 種抑制法における浮	含まない乳剤 一般名処方加 駅に統計解析し 腫抑制率(ラット 59.9 試験製剤	性(O/W)ロ 算1,2、後多 た結果、根 ・ n=10)	ーションを ・	割である。毛の各種体制 との生物学 Control ローション 基験製剤 標準製剤	上髪部等に適する 加算に該当しませ 的同等性が確認な 平均浮腫率 ±SE(%) 80.2±6.0 81.7±5.7 32.2±2.8	せん。 かれた。 抑制率 (%) -1.9
標準製剤	(2)刺病 100 80 60 40 0 100 900	激感をもたらす。 報酬上の後発 印制率及び肉芽 クロトン油浮胆 0 Control ローション ペ	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 種抑制法における浮 0 ローション基剤	含まない乳剤 一般名処方加 駅に統計解析し 腫抑制率(ラット 59.9 試験製剤	性(O/W)ロ 算1,2、後多 た結果、根 ・ n=10)	ーションを ・	割である。毛の各種体制 との生物学 Control ローション 基験製剤 標準製剤	 製部等に適する 加算に該当しませ 的同等性が確認 平均浮腫率 ±SE(%) 80.2±6.0 81.7±5.7 32.2±2.8 29.8±3.3 平均肉芽重量	せん。 抑制率 (%) -1.9 59.9 62.8
標準製剤	(2)刺病 100 80 60 40 0 100 900	激感をもたらす。 報酬上の後発 印制率及び肉芽 クロトン油浮脂 0 Control ローション ペ	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 種抑制法における浮 0 ローション基剤	含まない乳剤 一般名処方加票に統計解析し腫抑制率(ラット 59.9 試験製剤 る肉芽形成抑制	性(O/W)ロ 第1,2、後3 た結果、様 ・ n=10)	ーション ・	割である。毛の各種体制 との生物学 Control ロージョン 基剤 試験製剤 (クリーム)	 装部等に適する 加算に該当しませ 的同等性が確認 平均浮腫率 ±SE(%) 80.2±6.0 81.7±5.7 32.2±2.8 29.8±3.3 平均肉芽重量 ±SE(mg) 	せん。 抑制率 (%) -1.9 59.9 62.8
標準製剤	(2)刺病 100 80 60 40 0 100 900	激感をもたらす。 報酬上の後発 印制率及び肉芽 クロトン油浮脂 0 Control ローション ペ	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 種抑制法における浮 0 ローション基剤	含まない乳剤 一般名処方加 駅に統計解析し 腫抑制率(ラット 59.9 試験製剤	性(O/W)ロ 算1,2、後多 た結果、根 ・ n=10)	ーション ・	割である。毛の各種体制 との生物学 Control ローション 基験製剤 標準製剤	大田 10 10 10 10 10 10 10 1	世ん。 抑制率 (%) -1.9 59.9 62.8
標準製剤	(2)刺病 100 80 60 40 0 100 900	激感をもたらす。 表報酬上の後発 切制率及び肉芽 クロトン油浮腫 0 Control ローション ペ	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 種抑制法における浮 0 ローション基剤	含まない乳剤 一般名処方加票に統計解析し腫抑制率(ラット 59.9 試験製剤 る肉芽形成抑制	性(O/W)ロ 第1,2、後3 た結果、様 ・ n=10)	ーション ・	Nである。毛の各種体制 Control ローション 基験製剤 (グリーム) Control ロージョン 基剤 ボッキュン ボッキュー	大学 である である	せん。 抑制率 (%) -1.9 59.9 62.8 抑制率 (%) -7.5
標準製剤	(2)	激感をもたらす。 表報酬上の後発 の	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 種抑制法における浮 0 ローション基剤	含まない乳剤 一般名処方加票に統計解析し腫抑制率(ラット 59.9 試験製剤 る肉芽形成抑制	性(O/W)ロ 第1,2、後3 た結果、様 ・ n=10)	ーション ・	割である。毛の各種体制 との生物学 Control 「ローション 基験製剤 (クリーム) Control 「ロージョン 基験製剤 (カリーム) Control 「ロージョン 基験製剤 (カリーム)	世界 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	世ん。 抑制率 (%) -1.9 59.9 62.8 抑制率 (%) - -7.5
標準製剤	(2)	激感をもたらす。 表報酬上の後発 の	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 種抑制法における浮 0 ローション基剤	含まない乳剤 一般名処方加票に統計解析し腫抑制率(ラット 59.9 試験製剤 る肉芽形成抑制	性(O/W)ロ 第1,2、後3 た結果、様 ・ n=10)	ーション ・	Nである。毛の各種体制 Control ローション 基験製剤 (グリーム) Control ロージョン 基剤 ボッキュン ボッキュー	大学 である である	せん。 抑制率 (%) -1.9 59.9 62.8 抑制率 (%) -7.5
標準製剤	(2)	激感をもたらす。 表報酬上の後発 の	低級アルコールを 医薬品に該当し、 形成抑制率を指標 即制法における浮 の ローション基剤 ーパーディスクによる	含まない乳剤 一般名処方加限に統計解析し限抑制率(ラット 59.9 試験製剤 3肉芽形成抑制 555 は 試験製剤	性(O/W)ロ 第1,2、後身 た結果、様 ・ n=10) 62.1 標準製剤 (ラット n=	ーション ・	割である。毛の各種体制 との生物学 Control 「ローション 基験製剤 標準リーム) Control 「ローション 「エーション 「エーシー 「エーシー 「エーシー 「エーション 「エーション 「エーション 「エーション 「エーション 「エーシー 「エーシー 「エーシー 「エーション 「エーシー 「エーン 「エーン	世界 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	せん。 抑制率 (%) -1.9 59.9 62.8 抑制率 (%) - -7.5 55.0